

おや、少年  
また会ったな

どうした  
目を合わせよう  
とせぬが

妾と話すのが  
そんなに嫌か？



どれ、また少し  
話でもせぬか

連れの人造魔神らは  
一緒ではないのかえ？

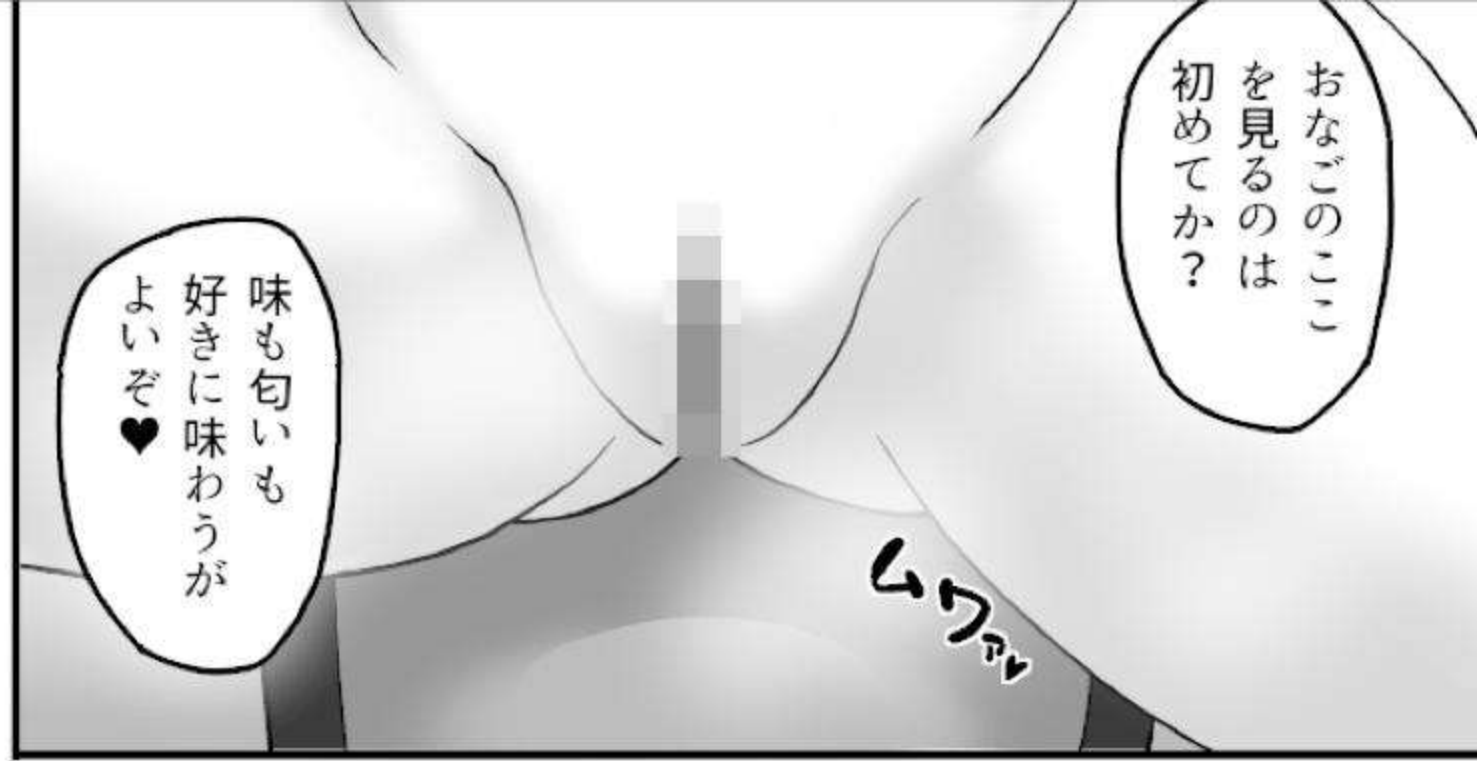
ほほう、さては  
妾の前垂れの奥が  
気になるかや

可愛い盛りのおのこじや

いんち

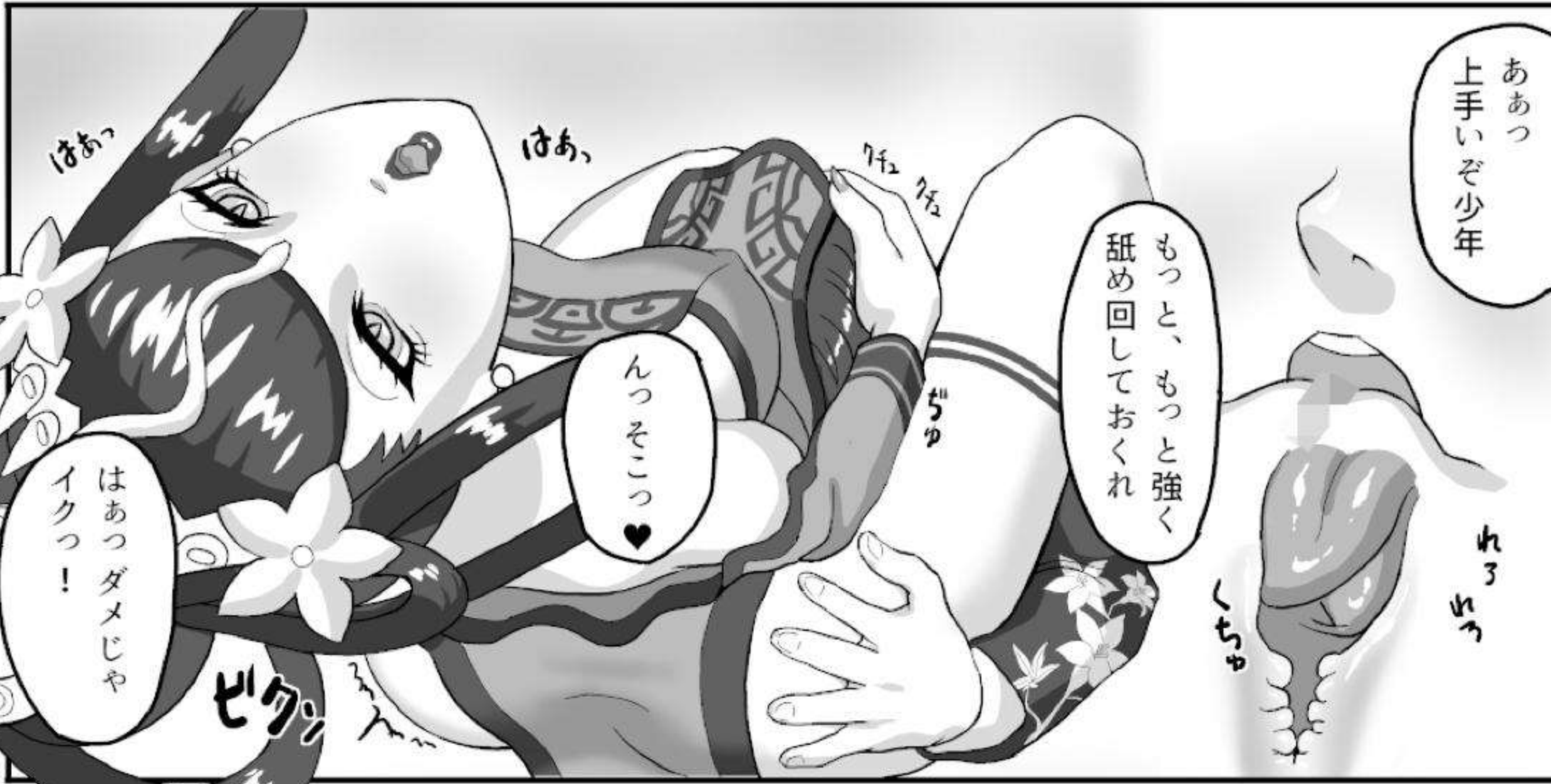
そんなに気になるなら、ほうれ

間近で好きなだけ  
堪能させてやろう



おなごのこころ  
を見るのは  
初めてか？

味も匂いも  
好きに味わうが  
よいぞ♥



ああっ  
上手いぞ少年

もつと、もつと強く  
舐め回しておくれ

んっそこっ♥

はあっダメじゃ  
イクっ！



: 気持ちよくして  
もろうたお礼に  
そちの筆下ろしを  
手伝うてやる

前は八雲の物ゆえ  
後ろの初めてを  
少年に譲ろう

妾の見込んだその  
漢気をたっぷり  
味わわせておくれ♥



ズッ...

どうじゃ妾の具合は？  
蛇のようにうねり  
ながら絡みついて  
くるであろう

ふふっおヌシ  
挿れただけでイキそう  
で動けぬな？

どれ、妾が  
動いてやろう♡

ほれっ  
どうじゃ♡

おや、膝が  
笑っておるぞ

そろそろ我慢の  
限界かえ？

仕方ない、  
たっぷり射精す  
がよからう♡

連れないのう  
妾を満たして  
くれぬままに





びゅるるる



あはっ……♡  
凄い勢いじゃ

……ッ!

ドクッ

ドクッ

ふふ……なかなか  
楽しいひとときじゃ  
つたぞ少年

妾を満足させるには  
ちと修行が足りぬ  
ようじゃが♡

ともあれそなたには  
色々期待しておる

そうじゃ  
ひとついいことを  
教えてやろう

分霊の妾を  
召喚できるよう  
になったら

そっちでもっと  
気持ちいいこと  
してやるぞ♡

じゃあな

八雲には内緒じゃぞー  
風邪引くぞー

